

河原木団地 夏祭り ～山車が彩る団地の夏～

河原木団地の夏祭りについて、河原木団地連合町内会 あべひろし 阿部 弘 会長、さいとうかずゆき 齋藤和行 幹事長
にお話を伺いました。



阿部会長

○河原木団地 夏祭りについて

河原木地区では、毎年8月第4週の週末に河原木団地夏祭りを開催しています。この祭りは山車祭りで、今年は8月24日～26日に開催する予定です。

○祭りのはじまり

35年ほど前に、町内に青森市出身で山車製作経験者の方が住んでいました。その方から製作を学び、町内でねぶたを作ったのがきっかけです。やがて所属する町内会全てでそれぞれ山車を作るようになり、今では4台の山車が出る祭りとなりました。

○個性豊かな山車作り

毎年6月半ば頃から町内会ごとに山車のテーマを決め、製作作業に入ります。每晚遅くまで、子供も大人も世代を超え、経験の有無も関係なく、協力して作業を進めています。

町内会によって山車の形式もさまざまです。市営住宅町内会は人形山車、県営第一町内会はねぶた山車、県営第二町内会と県営第三町内会はねぶた山車を製作しています。

○お祭りの様子

最初の2日間は日中に町内で山車を運行します。山車の引き子は主に町内の子供たちで、大人も含めて全体で200人ほどが参加しています。

最終日の夜は公園で盆踊りや花火大会を開催します。お祭りの最後を飾る花火大会では、約20分で65発の花火を打ち上げます。近くで打ち上げるので非常に迫力があり、毎年この花火大会を一番楽しみにしている住民もいます。

○今後について

見物に来るお客さんが年々増えており、今では2,000人ほどが集まるようになりました。

近隣地域も含めて一体感が高まるこの夏祭りをこれからもずっと大切に守っていきたいと思っています。



山車の町内運行の様子